

# 令和4年度地域運動部活動推進事業 休日の段階的な地域移行に関する実践研究 成果報告書（概要）

## 鹿児島県

### （地域における現状・課題）

- ・ 県内の中学校では、協議経験や指導経験の浅い教員が部活動の指導に携わっている場合があり、教員の負担になっている。
- ・ 部活動の地域移行の取組を進めていくには、受け皿となる運営団体・実施主体の確保、指導者となる地域人材の確保、活動場所の確保、予算の確保などが課題である。

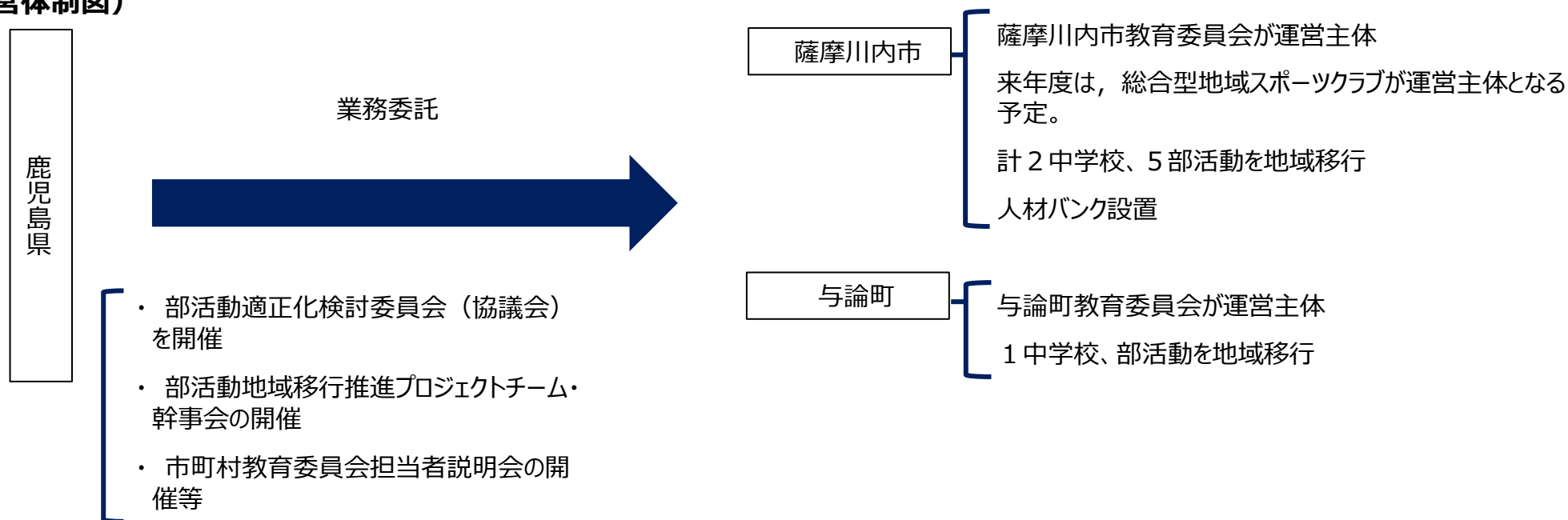
### （地域移行の推進に向けた体制整備の取組概要）

- ・ 県部活動適正化検討委員会（協議会）を開催し、本県における部活動地域移行の課題等について検討した。
- ・ 教育委員会内の関係各課及び知事部局のスポーツ・文化に関わる課によるプロジェクトチーム・幹事会を組織し、部活動地域移行に関する共通理解を図り、推進体制を構築した。

### （実践研究の成果）

- ・ 薩摩川内市と与論町における令和3年度からの実践研究の取組みが、参考となり他の市町村の取組の推進を図ることができた。

### （運営体制図）



# 令和4年度地域運動部活動推進事業 休日の段階的な地域移行に関する実践研究 成果報告書（概要）

## 薩摩川内市

### （地域における現状・課題）

入来中学校には、5つの運動部活動があり、学校職員が顧問をし、外部指導者が週休日等の活動に協力している。樋脇中学校にはホッケー部があり、学校職員が指導しているが、今後も地域の協力を得ながら指導していく必要がある。拠点校の課題は、次の2点である。

- (1) 競技歴や指導歴の浅い職員が顧問をしなければならない現状があり、専門性のある指導ができない。
- (2) 週休日等の部活動指導により、時間外勤務の時間が増え、部活動顧問のライフ・ワーク・バランスがとりにくい。

### （地域移行の推進に向けた体制整備の取組概要）

運営主体：薩摩川内市教育委員会

活動場所：入来中学校、樋脇中学校、樋脇屋外人工芝競技場

指導者：地域指導者

移動手段：徒歩、自転車

責任主体：薩摩川内市教育委員会

活動種目：軟式野球、ソフトテニス、サッカー、バレーボール、ホッケー

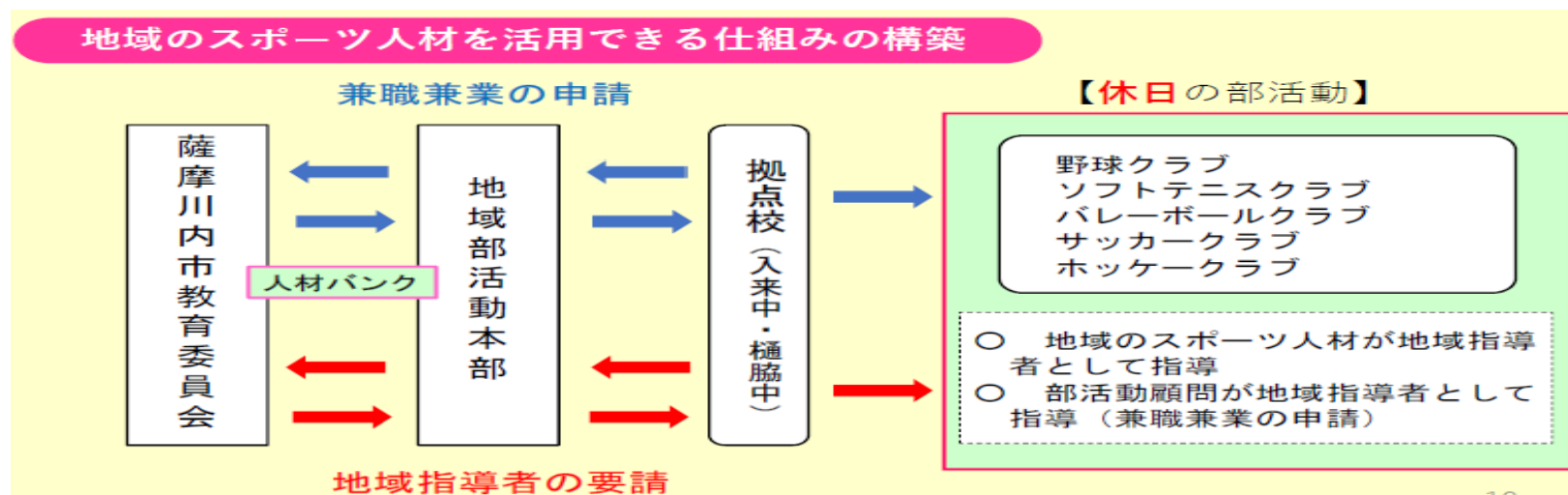
会費等：0円

保険：指導者1,850円 生徒800円（スポーツ安全保険）

### （実践研究の成果）

- (1) 同じ拠点校、同じ部活動で2年間継続して取り組んだことにより、地域指導者と生徒の信頼関係が深まり、充実した指導を行うことができた。また、地域指導者と顧問の連携での困り感もなくなった。
- (2) 地域スポーツ活動に参加し、地域指導者からの専門性のある指導を受けたことにより、生徒の満足度は、90%を超えた。
- (3) 休日に地域指導者が指導することにより、拠点校教職員の休日の勤務時間が改善され、ワーク・ライフ・バランスにつながっている。
- (4) 登録要項や募集チラシの作成及び周知、説明会の実施など、地域指導者確保へ向けた人材バンク設立への取組を進めていくことができた。

### （運営体制図）



# 令和4年度地域運動部活動推進事業 休日の段階的な地域移行に関する実践研究 成果報告書（概要）

## 与論町

### （地域における現状・課題）

与論中学校では、令和3年度に、運動部活動の一部を地域に移行した。そのことにより、同年10月に実施した業務改善に係る教職員意識調査では、部活動に係る勤務条件の改善について「十分に効果が表れている」と回答した教師の割合が前年度の11%から25%に上昇した。しかし、「あまり効果が表れていない」と回答した教師が25%いたことや、7つある運動部活動のうち5つの部活動の顧問の教師が、担当しているスポーツの競技経験がないために指導に困難さを抱えていたことから、現在行っている地域移行に係る取組をより一層推進する必要がある。



### （地域移行の推進に向けた体制整備の取組概要）

運営主体：与論町地域部活動推進協議会（与論町教育委員会事務局内）  
 活動場所：与論中学校並びに与論町人工芝サッカー場「ゆいLAND」  
 指導者：地域指導者（地域住民5人、兼職許可を受けた教師4人）  
 移動手段：徒歩又は自転車

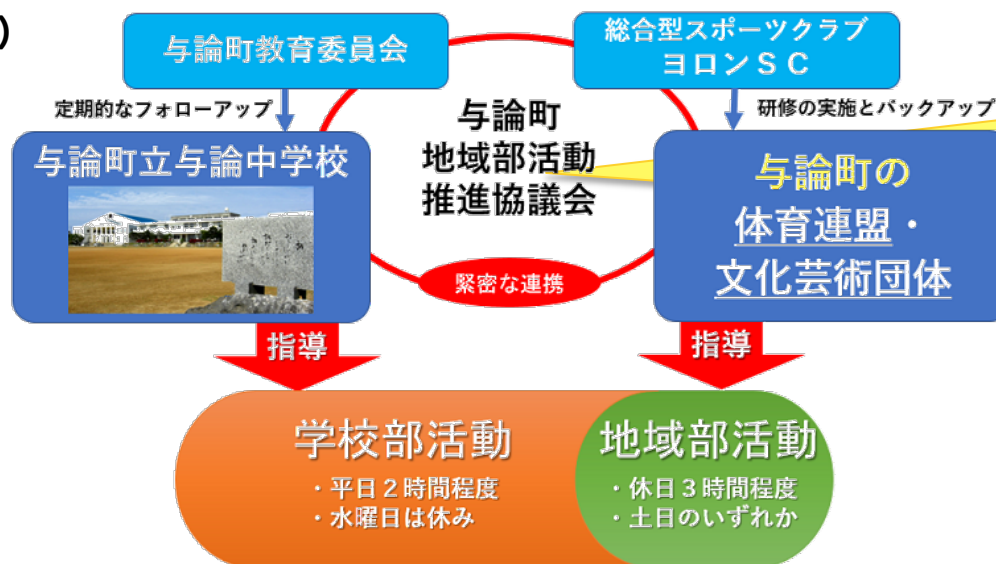
責任主体：与論町教育委員会  
 活動種目：サッカー部、卓球部、剣道部  
 会費等：徴収なし  
 保険：800円（スポーツ安全保険）



### （実践研究の成果）

- 令和5年2月末時点における地域指導者の指導実績は、平日136.5時間、休日196.5時間であった。地域指導者による単独指導の機会が増えたことにより、顧問の教師が部活動の指導に従事する時間は地域移行開始前より2～3割削減されており、教師の負担軽減と専門的な指導の実現が図られている。
- 地域に移行した3つの部活動とも、地域のスポーツクラブとして島外の試合や島内の練習試合に初参加した。特に剣道部については、顧問の教師を伴わず、地域指導者の単独引率により大会に参加することができた。

### （運営体制図）



### 「与論町地域部活動推進協議会」構成機関・団体等

- ・ 与論町教育委員会
- ・ 与論町立与論中学校
- ・ 総合型スポーツクラブヨロンSC
- ・ 与論町サッカー連盟
- ・ 与論町剣道連盟
- ・ 与論町卓球連盟
- ・ ヨロンSC音楽教室

